

平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アイケイ
 コード番号 2722 URL <http://www.ai-kei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括
 四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 飯田 裕
 (氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-486-5050

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	5,468	19.2	150	369.9	144	562.6	81	219.4
23年5月期第2四半期	4,586	—	32	—	21	—	25	—

(注) 包括利益 24年5月期第2四半期 82百万円 (227.5%) 23年5月期第2四半期 25百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	4,632.73	—
23年5月期第2四半期	1,450.44	—

(注) 平成23年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年5月期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年5月期第2四半期	4,552	—	1,373	—	30.2	—
23年5月期	4,115	—	1,322	—	32.0	—

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 1,373百万円 23年5月期 1,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	1,600.00	1,600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	13.8	300	66.7	290	70.6	210	31.3	11,937.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期2Q	19,520 株	23年5月期	19,520 株
② 期末自己株式数	24年5月期2Q	1,929 株	23年5月期	1,929 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期2Q	17,591 株	23年5月期2Q	17,591 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月11日に発生いたしました東日本大震災の影響により厳しい状況が続く中、サプライチェーンの立て直しが進み、経済活動が回復してきましたものの、米国や欧州の不安定な金融情勢を背景とした海外経済の減速と円高の進行、さらにはタイ王国において生産設備の洪水被害が発生するなど、先行き不透明な状況の中で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、通信販売事業において雑貨類商品、食品類商品ともにメーカーベンダーとしての機能を果たすべくプライベートブランド商品の開発に注力する一方、営業面ではお客様へのカタログ企画の提案を強化してまいりましたことから順調に推移いたしました。

SKINFOOD事業においては、SKINFOOD化粧品店の直営店3店を出店し、FC店1店を閉店いたしました結果、当四半期連結会計期間末の店舗数は直営店17店、FC店2店の合計19店となりました。

CRMソリューション事業においては、販売代理店の拡大に注力しており、ほぼ計画どおりに販売代理店の獲得が進み、営業面での強化が図られつつあります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高5,468百万円（前年同四半期比19.2%増）、営業利益150百万円（前年同四半期比369.9%増）、経常利益144百万円（前年同四半期比562.6%増）、四半期純利益81百万円（前年同四半期比219.4%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

<通信販売事業>

売上高は4,805百万円（前年同四半期比11.5%増）となり、営業利益は139百万円（前年同四半期比273.8%増）となりました。

<SKINFOOD事業>

売上高は547百万円（前年同四半期比57.4%増）となり、営業利益は19百万円（前年同四半期比533.7%増）となりました。

<CRMソリューション事業>

売上高は115百万円となり、営業損失は1百万円となりました。CRMソリューション事業は前第3四半期連結累計期間からアルファコム株式会社を連結子会社としたことにより、新たにセグメントとして区分しているため、前年同四半期比については記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ427百万円増加しました。主な流動資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が171百万円、「商品及び製品」が319百万円それぞれ増加し「現金及び預金」が79百万円減少したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ8百万円増加しました。主な固定資産の変動は、「有形固定資産」が23百万円増加し、「投資その他の資産」が9百万円減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,552百万円となり、前連結会計年度末に比べ436百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ414百万円増加しました。主な流動負債の変動は、「支払手形及び買掛金」が299百万円、「短期借入金」が100百万円それぞれ増加したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ28百万円減少しました。主な固定負債の変動は、「長期借入金」が31百万円減少したことによります。この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は3,178百万円となり、前連結会計年度末に比べ385百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ50百万円増加しました。主な純資産の変動は、「利益剰余金」が55百万円増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は228百万円となり、前連結会計年度末より79百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動における資金の減少は、31百万円（前年同四半期は101百万円の増加）となりました。

主な資金の増加要因は、税金等調整前四半期純利益144百万円、仕入債務の増加298百万円であります。また主な資金の減少要因は、売上債権の増加171百万円、たな卸資産の増加319百万円となっております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動における資金の減少は、64百万円（前年同四半期は113百万円の減少）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出40百万円、差入保証金の差入による支出26百万円があったことが主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動における資金の増加は、21百万円（前年同四半期は309百万円の増加）となりました。

主な資金の増加要因は、長期借入れによる収入258百万円、短期借入れの増加額100百万円であります。また資金の主な減少要因は、長期借入金の返済による支出310百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年7月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	307,419	228,405
受取手形及び売掛金	1,944,277	2,116,177
商品及び製品	757,384	1,076,658
原材料及び貯蔵品	3,255	3,395
その他	123,123	138,064
貸倒引当金	△4,979	△4,607
流動資産合計	3,130,480	3,558,094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	285,535	293,267
土地	260,225	260,225
その他（純額）	16,407	31,783
有形固定資産合計	562,168	585,276
無形固定資産		
のれん	44,753	35,802
その他	59,418	63,942
無形固定資産合計	104,171	99,745
投資その他の資産		
その他	319,106	309,197
貸倒引当金	△142	△135
投資その他の資産合計	318,963	309,061
固定資産合計	985,304	994,083
資産合計	4,115,784	4,552,178
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	907,713	1,207,252
短期借入金	200,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	464,762	444,044
未払法人税等	6,221	70,609
役員賞与引当金	21,800	17,530
ポイント引当金	15,468	15,900
返品調整引当金	10,460	13,258
その他	436,219	408,365
流動負債合計	2,062,645	2,476,959
固定負債		
長期借入金	562,016	530,124
退職給付引当金	51,564	53,462
役員退職慰労引当金	109,447	110,781
その他	7,451	7,451
固定負債合計	730,478	701,819

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
負債合計	2,793,123	3,178,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	324,449	324,449
利益剰余金	676,798	731,906
自己株式	△84,490	△84,490
株主資本合計	1,318,507	1,373,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△168	△216
その他の包括利益累計額合計	△168	△216
少数株主持分	4,321	—
純資産合計	1,322,660	1,373,399
負債純資産合計	4,115,784	4,552,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	4,586,493	5,468,101
売上原価	2,873,810	3,350,139
売上総利益	1,712,683	2,117,962
販売費及び一般管理費	1,680,638	1,967,395
営業利益	32,044	150,566
営業外収益		
受取利息	52	74
受取手数料	3,501	4,279
助成金収入	1,400	—
その他	867	1,804
営業外収益合計	5,820	6,159
営業外費用		
支払利息	9,002	8,140
為替差損	7,129	4,574
営業外費用合計	16,132	12,715
経常利益	21,733	144,009
特別利益		
投資有価証券売却益	1,799	—
特別利益合計	1,799	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	82	—
特別損失合計	82	—
税金等調整前四半期純利益	23,450	144,009
法人税等	△2,063	61,189
少数株主損益調整前四半期純利益	25,514	82,820
少数株主利益	—	1,326
四半期純利益	25,514	81,494

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25,514	82,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△240	△48
その他の包括利益合計	△240	△48
四半期包括利益	25,274	82,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,274	81,446
少数株主に係る四半期包括利益	—	1,326

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,450	144,009
減価償却費	33,320	41,862
のれん償却額	1,771	9,303
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	136	△379
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,430	△4,270
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,662	1,898
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	1,334
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	543	432
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△3,071	2,798
受取利息及び受取配当金	△52	△74
支払利息	9,002	8,140
為替差損益 (△は益)	7,129	4,714
売上債権の増減額 (△は増加)	△44,710	△171,856
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△63,843	△319,413
仕入債務の増減額 (△は減少)	111,455	298,324
未収消費税等の増減額 (△は増加)	4,281	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△13,460	△22,062
その他の資産の増減額 (△は増加)	4,598	△2,084
その他の負債の増減額 (△は減少)	40,813	△12,600
小計	114,599	△19,923
利息及び配当金の受取額	51	73
利息の支払額	△8,846	△8,249
法人税等の支払額	△4,175	△3,009
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,629	△31,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36,623	△40,852
無形固定資産の取得による支出	△900	△22,249
少数株主からの子会社株式の取得による支出	—	△6,000
貸付けによる支出	△32,710	△4,700
貸付金の回収による収入	3,509	5,540
差入保証金の差入による支出	△43,431	△26,799
差入保証金の回収による収入	—	9,977
その他	△2,861	20,559
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,017	△64,524
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	350,000	100,000
長期借入れによる収入	200,000	258,000
長期借入金の返済による支出	△216,072	△310,610
配当金の支払額	△24,144	△26,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	309,783	21,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,129	△4,714
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	291,265	△79,013
現金及び現金同等物の期首残高	107,707	307,419
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	5,263	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	404,236	228,405

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	通信販売事業	SKINFOOD事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,311,145	275,347	4,586,493	—	4,586,493
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	72,547	72,547	△72,547	—
計	4,311,145	347,894	4,659,040	△72,547	4,586,493
セグメント利益	37,224	3,050	40,274	△8,230	32,044

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,230千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	通信販売事業	SKINFOOD事業	CRMソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,805,220	547,432	115,447	5,468,101	—	5,468,101
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,805,220	547,432	115,447	5,468,101	—	5,468,101
セグメント利益又は損失(△)	139,129	19,328	△1,744	156,713	△6,147	150,566

(注) 1. セグメント利益の調整額△6,147千円には、セグメント間取引消去3,156千円、のれんの償却額△9,303千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来「通信販売事業」及び「SKINFOOD事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、前第3四半期連結会計期間より、「通信販売事業」、「SKINFOOD事業」及び「CRMソリューション事業」の3セグメントに変更しております。

この変更は、前第3四半期連結会計期間よりアルファコム株式会社を連結子会社としたことに伴い「CRMソリューション事業」が新たに報告セグメントに加わったことによるものです。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。